

アジアビジネス情報

印刷用ページ  スクラップブックに登録

長期戦を覚悟！！「ウイズコロナ」でのビジネスの在り方を考える

発行: 2021/08/27

記事提供: 株式会社アーキビジネスサーチ(外部サイトヘリンク)

概要

新型コロナウイルスの感染拡大に収束の兆しが見えない中、海外出張のハードルはますます高くなると言わざるを得ないだろう。とはいえ、ビジネスにおいてはそろそろ現地を訪ねた方がいいと不安を感じているビジネスパーソンも多いはずだ。海外の取引先の入念な格付けや情報のアップデートも欠かせない。そこで今回は「ウイズコロナ」でのビジネスの体制再構築や在り方を提言したい。

「飛耳長目」をご存じだろうか。中国の古典「管子」に由来する言葉で、広辞苑には「遠方のことをよく見聞きする耳目。物事の観察に鋭敏なこと」とある。幕末の志士、吉田松陰(1830～1859年)が、高杉晋作や伊藤博文らを排出した萩の松下村塾で、若者らに情報収集の大切さを説いた言葉としても知られている。

新型コロナウイルス禍にあって「飛耳長目」の重要性は、さらに増しているように思われる。

2019年12月、中国湖北省武漢市において世界で初めて新型コロナウイルスの感染が確認されてから約1年9カ月。現在、感染力の強いインド由来の変異株「デルタ株」が猛威を振るっており、世界保健機関(WHO)によると全世界の感染者は2億1200万人を超え、死者は440万人を突破した(2021年8月17日現在)。一方、世界の新型コロナワクチンの接種回数は累計約50億回に達し(2021年8月25日現在)、そのスピードも徐々に上がっている。だが、問題はワクチン供給に格差があることだ。

例えば、タイでは必要回数の接種を終えたのは人口の10%にも満たない。警官隊と衝突するなど最近、激しさを増している反体制デモでも、ワクチン不足解消は主要な訴えとなっている。タイでは感染の第3波の真ただ中にあり、2021年8月25日現在の感染者数の累計は108万3951人で死者は9,788人。依然として収束の兆しが見えない状況である。徐々にではあるが、タイの日本人駐在員も日本でのワクチン接種を目的に帰国する現状を目にする。

タイ中央銀行(BOT)は、タイのように国の経済資源となる産業が観光である場合、コロナ危機前の2019年の経済水準を回復するまで3年以上かかるとの見通しを公表している。私自身は、2024年第1四半期までは厳しい現状が続くと予測している。

こうした状況を考えて、海外出張のハードルはますます高くなると言わざるを得ないだろう。一部の国を除けば、隔離によって往復で1カ月、身動きできなくなるのは痛い。LCCでの格安海外旅行なども過去の話である。

とはいえ、ビジネスにおいては「そろそろ現地を訪ねた方がいいのだが」と、不安を感じているビジネスパーソンも多いはずだ。取引先の社員が在庫品を横流ししたり、怪しいペーパーカンパニーを設立し、そこに業務委託しているようなふりをして委託手数料をだまし取ったりするケースは「コロナ禍以前から海外ビジネス『あるある』だった」と東南アジアに拠点を持つビジネス系コンサルタントはコメントする。

そうした事態を放置していると、企業の経営ばかりかガバナンス的な評判にも悪影響を及ぼしかねない。だが、一体どうすればいい。その「葛藤」に着目して、弊社ではシンガポールのパートナー会社と、これまでのノウハウ提供を活用し、東南アジア諸国連合(ASEAN)域内の調査員が写真とビデオを収録した「現地訪問調査レポート」事業を近日開始する。ASEAN各国にいる信頼のおける調査員が、現地を直接訪問し、対象となる事務所や倉庫の看板、所在地周辺などの写真や動画を撮影し、実態を確認。早ければ依頼から1週間以内に「現地訪問調査レポート」として需要家に対してメールやSNSで即座に納品するというビジネスモデルである。

これからの海外ビジネスは業態を変化させ、コンプライアンスチェックの重要性はますます高まり、どんなときでも怠ることはできない。そんな今だからこそ、海外の取引先の入念な格付けや情報のアップデートは欠かせない。調査員が依頼主の「耳」や「目」となって現地を訪問・調査し、金融機関などの専門家と連携する「ウイズコロナ」でのビジネスの在り方を提言したい。



福田 淳 Jun Fukuda
株式会社アーケビジネスサーチ
取締役 兼 海外ビジネスコンサルタント

1996年から2001年までタイ王国タマサート大学にて講師として勤務。
1997年から2020年までタイ・バンコクにて日系企業のタイ進出、M&Aや販路開拓サポートを目的としたARKENTERPRISE CO.,LTD.を経営する。2008年には東京に東南アジア(タイ+CLM+P)の事業相談のハブとなる株式会社アーケビジネスサーチを設立し現職。これまで日本貿易振興機構(JETRO)バンコク事務所プラットフォームコーディネーター、中小企業基盤整備機構国際化支援アドバイザー、自治体(岡山県、福井県)から国際化事業までの支援に従事。通算20年以上の支援実績と東南アジアでの幅の広い人脈を活かして各種ビジネスにプロデューサーとして参画している。

よろしければ、アンケートにお答えください

この記事は参考になりましたか？

とても参考になった まあまあ参考になった あまり参考にならなかった

コメント欄

> 送信する

- 本資料は情報提供を唯一の目的としたものであり、金融商品の売買や投資などの勧誘を目的としたものではありません。本資料の中に銀行取引や同取引に関連する記載がある場合、弊行がそれらの取引を応諾したこと、またそれらの取引の実行を推奨することを意味するものではなく、それらの取引の妥当性や、適法性等について保証するものではありません。
- 本資料の記述は弊行内で作成したものを含め弊行の統一された考えを表明したものではありません。
- 本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。最終判断はご自身で行っていただきますようお願いいたします。本資料に基づく投資決定、経営上の判断、その他全ての行為によって如何なる損害を受けた場合にも、弊行ならびに原資料提供者は弊行の故意または過失により生じた損害を除き一切の責任を負いません。実際の適用につきましては、別途、公認会計士、税理士、弁護士にご確認いただきますようお願いいたします。
- 本資料の知的財産権は全て本サービスへの原資料提供者または株式会社三菱UFJ銀行に帰属します。本資料の本文の一部または全部について、第三者への開示および、複製、販売、その他如何なる方法においても、第三者への提供を禁じます。
- 本資料の内容は予告なく変更される場合があります。

アジアビジネス情報

[> バックナンバーの一覧へ](#)

- 21/08/27 [📄 長期戦を覚悟！！「ウイズコロナ」でのビジネスの在り方を考える](#)
- 21/06/23 [📄 リサイクルビジネスの将来像～人とテクノロジーのテーマ](#)
- 21/03/18 [📄 タイASQ\(15日間隔離\)を体験してみた～タイ入国編](#)
- 21/02/08 [📄 新型コロナウイルスによる企業と信調査の変化](#)
- 20/12/07 [📄 次代のタイ国内における日本の技術継承の現状と未来！！](#)